

バージョン9 リリース 1.2
2015 年 9 月 23 日

IBM Contact Optimization システム・テーブル

The IBM logo is displayed in its characteristic eight horizontal stripes, rendered in a bold, black, sans-serif font.

注記

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、73ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM Contact Optimization バージョン 9 リリース 1 モディフィケーション 2、および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： Version 9 Release 1.2
September 23, 2015
IBM Contact Optimization System Tables

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

© Copyright IBM Corporation 1999, 2015.

目次

第 1 章 IBM Contact Optimization シス

テム・テーブル資料 1

システム・テーブル・レコードの追加属性の定義 . . . 1

第 2 章 IBM Contact Optimization シス

テム・テーブル 3

UA_OptimizeProcess 3

UACO_OCTBase 10

UACO_OfferSeg 11

UACO_OptSession 14

UACO_PCTBase 26

UACO_POABase 31

UACO_RConstraint 34

UACO_RCTYPE 36

UACO_REException 37

UACO_RExConstraint 39

UACO_RExType 41

UACO_ROffer 42

UACO_ROfferList 44

UACO_RSegment 46

UACO_RSubsection 48

UACO_Rule 49

UACO_RuleSubtype 55

UACO_RuleType 56

UACO_SesnOffer 57

UACO_SesnRunHist 60

UACO_SesnRunType 64

UACO_SesnSegment 65

UACO_SesnStatus 68

UACO_UserTable 69

IBM 技術サポートへのお問い合わせ . . . 71

特記事項 73

商標 75

プライバシー・ポリシーおよび利用条件に関する考

慮事項 75

第 1 章 IBM Contact Optimization システム・テーブル資料

IBM® Contact Optimization システム・テーブル資料は、企業が統合のために IBM Contact Optimization データ・モデルを理解できるようにすることを目的としています。

重要: 特に明示されない限り、(ユーザー・インターフェースを使わずに) 直接 Contact Optimization システム・テーブルを変更することは避けてください。Contact Optimization システム・テーブルを直接変更すると、アプリケーションの機能に問題が生じる可能性があり、発生した問題を IBM 技術サポートが解決することがより困難になる場合があります。

使用条件

この情報は、IBM に属する機密および専有の情報であるため、現在有効な機密保持契約に従う場合のみ使用できます。

社内で知る必要がある人とだけこの情報を共有するようにしてください。本書に含まれるデータを開示からふさわしく保護する現在有効な機密保持契約が貴社と IBM との間で結ばれているかどうかを確認できない場合は、本書を読むのを中断し、直ちに IBM にご返却ください。

システム・テーブルの将来の変更

IBM は、いつでもシステム・テーブルのスキーマおよび IBM Contact Optimization 製品に関する本書の内容を変更する権利を留保しています。Contact Optimization システム・テーブルを使ってカスタム統合を開発する場合、IBM Contact Optimization システム・テーブルの将来のリリースで機能させるために、そのコンポーネントを検討し、おそらく変更する必要があります。

IBM Contact Optimization システム・テーブルを使用する、カスタム開発された拡張機能またはサード・パーティーの拡張機能については、前のバージョンとの互換性および自動移行は保証されません。特に明示しない限り、IBM は、この製品の一部として出荷された IBM Contact Optimization アプリケーションまたは標準ツールによる標準的なアプリケーションの使用以外には、いかなる IBM Contact Optimization システム・テーブルの使用もサポートしません。

システム・テーブル・レコードの追加属性の定義

システム・テーブル・リファレンスの「追加の属性」列では、各システム・テーブルのフィールドに関する情報が収められています。「追加の属性」列に含まれている各属性の意味を以下の定義で説明します。

表 1. システム・テーブル・レコードの追加属性

追加の属性	定義
1 次キー?	そのフィールドが 1 次キーかどうか。
外部キー?	そのフィールドが外部キーかどうか。

表 1. システム・テーブル・レコードの追加属性 (続き)

追加の属性	定義
必須フィールド?	テーブルで行の項目が有効であるためにそのフィールドが必須かどうか。
システム生成?	オブジェクト作成時にシステム生成のデフォルト値がそのフィールドに入るかどうか。
システム生成値をオーバーライド?	システム生成値が提供される場合、ユーザーがデフォルト値を変更できるかどうか。
ユーザー入力?	Campaign ユーザー・インターフェースを使ってユーザーがフィールドに入力するかどうか。
作成時に格納?	このフィールドの初期設定時にデータが設定されるかどうか。
保存時に格納?	オブジェクトの初期作成後に、このフィールドの値を編集し、(保存時に) 変更できるか。
実行時に格納?	フローチャートの実行時にこのフィールドにデータが設定されるかどうか。
構成?	このフィールドが構成パラメーターの影響を受けるかどうか。

第 2 章 IBM Contact Optimization システム・テーブル

UA_OptimizeProcess

このテーブルの項目は、IBM Campaign フローチャートに表示される単一の最適化プロセス・ボックスを表します。

表 2. UA_OptimizeProcess のフィールドの説明

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
OptimizeID	BIGINT	非 NULL	これはキャンペーン内で最適化プロセス・ボックスを一意的に識別する内部 ID です。 有効な値: 生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値と internalIDUpperLimit 構成パラメーター値の範囲内にある、グローバルに一意的な正整数。	19	1 次キー? はい 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? はい ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ
TempFlag	INTEGER	非 NULL	このボックスの一時的な状態。 有効な値: 0 = 一時的でない 1 = 一時的	10	1 次キー? はい 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? はい 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ

表 2. UA_OptimizeProcess のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
FlowchartID	INTEGER	非 NULL	最適化プロセス・ボックスが含まれるフローチャートの固有 ID。この ID は、フローチャートの作成時にシステムによって割り当てられます。 有効な値: 生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値と internalIDUpperLimit 構成パラメーター値の範囲内にある、グローバルに一意的な正整数。	10	1 次キー? はい 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? はい ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ
CampaignID	BIGINT	非 NULL	最適化プロセス・ボックスが含まれるフローチャートを含むキャンペーンの固有 ID。この ID は、キャンペーンの作成時に IBM Campaign によって割り当てられます。キャンペーンの UA_IDSByType テーブルの次に使用可能な値 (固有と想定される) が使用されます。 有効な値: 生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値と internalIDUpperLimit 構成パラメーター値の範囲内にある、グローバルに一意的な正整数。	19	1 次キー? いいえ 外部キー? はい 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ

表 2. UA_OptimizeProcess のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
ACOSessionID	BIGINT	非 NULL	各 Contact Optimization セッションの固有 ID。 有効な値: 生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値と internalIDUpperLimit 構成パラメーター値の範囲内にある、グローバルに一意的な正整数。	19	1 次キー? いいえ 外部キー? はい 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ
ProcessName	VARCHAR	非 NULL	(フローチャート内のプロセス・ボックスの「一般」タブで) ユーザーによってこのプロセス・ボックスに付けられた名前。 有効な値: 任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く)。	255	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? はい ユーザー入力? はい 作成時に格納? はい 保存時に格納? はい 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ

表 2. UA_OptimizeProcess のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
Status	VARCHAR	NULL	最適化プロセス・ボックスの状況。 有効な値: 'Free' または 'Busy'	16	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? はい 実行時に格納? はい 構成? いいえ
RunBy	INTEGER	NULL	前回このプロセス・ボックスを実行したユーザーの ID。 有効な値: 有効な ASM ユーザー ID	10	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? はい 実行時に格納? はい 構成? いいえ

表 2. UA_OptimizeProcess のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
LastRunDate	TIMESTAMP	NULL	最適化プロセス・ボックスの前の実行 (フローチャート、ブランチ、プロセスの実行) 日時。実行されていない場合、この値は NULL です。この値はテスト実行では更新されません。 有効な値: 有効な日時。	23,3	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? はい 実行時に格納? はい 構成? はい
RunResult	VARCHAR	NULL	前回の実行の結果。これは、実行の結果に関するメタデータが含まれている XML フィールドです。 有効な値: 最適化プロセスの実行の結果が含まれている整形形式 XML 文字列。	2048	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? いいえ 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? はい 構成? いいえ

表 2. UA_OptimizeProcess のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
CreateDate	TIMESTAMP	NULL	このプロセス・ボックスの作成日。 有効な値: 有効な日時。	23,3	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? はい
CreateBy	INTEGER	NULL	このボックスを作成したユーザーの ID。 有効な値: 有効な ASM ユーザー ID	10	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ

表 2. UA_OptimizeProcess のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
UpdateDate	TIMESTAMP	NULL	前回このプロセス・ボックスを変更した日時。 有効な値: 有効な日時。	23,3	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? いいえ 保存時に格納? はい 実行時に格納? いいえ 構成? はい
UpdateBy	INTEGER	NULL	このプロセス・ボックスを前回更新したユーザー。 有効な値: 有効な ASM ユーザー ID	10	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? いいえ 保存時に格納? はい 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ

表 3. UA_OptimizeProcess の親テーブル

テーブル名	説明
UACO_OptSession	このテーブルの項目は、単一の Contact Optimization セッションとそのすべてのメタデータを表します。
UA_Campaign	

UACO_OCTBase

このテーブルには、セッションの最適化済みコンタクト・テーブル (OCT) の作成に使用するすべての列が含まれます。

表 4. UACO_OCTBase のフィールドの説明

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
ContactID	BIGINT	非 NULL	特定のフローチャートから発生する潜在的コンタクトの固有 ID。この番号は、フローチャート全体で固有の番号です。このテーブルの項目は、Contact Optimization によってコンタクトが最適化され、受け入れられたことを意味します。このフィールドは OCT に現れます。 有効な値: 任意の数値。	19	1 次キー? はい 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? はい 構成? いいえ
OptimizeID	BIGINT	非 NULL	この特定のトランザクションを生成した最適化プロセス・ボックスの固有 ID。このフィールドは OCT に現れます。 有効な値: 生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値と internalIDUpperLimit 構成パラメーター値の範囲内にある、グローバルに一意的な正整数。	19	1 次キー? はい 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? はい 構成? はい

表 4. UACO_OCTBase のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
OutputScore	DOUBLE	非 NULL	最適化の際に Contact Optimization によって使用されたスコア。IBM Campaign から渡されたスコアはスコア行列でオーバーライドされる可能性があるため、このスコアをここに記録しておく必要があります。このフィールドは OCT に現れます。 有効な値: 任意の数値。	53	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? はい 構成? はい

UACO_OfferSeg

このテーブルには、スコア行列のオファーとセグメントの交差点で使用されるスコアが含まれます。

表 5. UACO_OfferSeg のフィールドの説明

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
ACOSessionID	BIGINT	非 NULL	Contact Optimization セッションの固有 ID。 有効な値: UACO_OptSession テーブルの任意の有効な ACOSessionID。	19	1 次キー? はい 外部キー? はい 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ

表 5. UACO_OfferSeg のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
SegmentID	BIGINT	非 NULL	スコア行列の戦略的セグメントの固有 ID。 有効な値: UA_Segment テーブルの任意の SegmentID。	19	1 次キー? はい 外部キー? はい 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? はい 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ
OfferID	BIGINT	非 NULL	スコア行列のオファーの固有 ID。 有効な値: UA_Offer テーブルの任意の有効な OfferID。	19	1 次キー? はい 外部キー? はい 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? はい 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ

表 5. UACO_OfferSeg のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
Score	DOUBLE	非 NULL	これは、この特定の行のオファー ID とセグメント ID がトランザクションのオファーまたはセグメントと一致するときに使用されるスコアです。 有効な値: 任意の正の数値。	53	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? いいえ システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? はい 作成時に格納? はい 保存時に格納? はい 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ

表 6. UACO_OfferSeg の親テーブル

テーブル名	説明
UACO_SesnSegment	このテーブルは、このセッションで使用されるスコア行列と「表示するセグメント」の 2 つの項目の定義に寄与します。
UACO_SesnOffer	このテーブルは、このセッションで使用されるスコア行列と「表示するオファー」の 2 つの項目の定義に寄与します。

UACO_OptSession

このテーブルの項目は、単一の Contact Optimization セッションとそのすべてのメタデータを表します。

表7. UACO_OptSession のフィールドの説明

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
ACOSessionID	BIGINT	非 NULL	各 Contact Optimization セッションの固有 ID。 有効な値: 生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメータ値と internalIDUpperLimit 構成パラメータ値の範囲内にある、グローバルに一意的な正整数。	19	1 次キー? はい 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ
FolderID	BIGINT	非 NULL	フォルダーの固有 ID。この ID は、フォルダーの新規作成時にシステムによって割り当てられます。フォルダー ID は 100 または internalIDLowerLimit 構成パラメータの値のうちの大きい方から始まります。 有効な値: 生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメータ値と internalIDUpperLimit 構成パラメータ値の範囲内にある、グローバルに一意的な正整数。	19	1 次キー? いいえ 外部キー? はい 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? はい 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ

表 7. UACO_OptSession のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
Name	VARCHAR	非 NULL	Contact Optimization セッションの名前。 有効な値: 任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く)。	64	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? いいえ システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? はい 作成時に格納? はい 保存時に格納? はい 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ
Objective	VARCHAR	NULL	ユーザーがフリー・フォームで入力するセッションの目的 (オプション)。 有効な値: 任意のテキスト文字	512	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? いいえ システム生成? いいえ システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? はい 作成時に格納? はい 保存時に格納? はい 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ

表 7. UACO_OptSession のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
Description	VARCHAR	NULL	<p>ユーザーがフリー・フォームで入力するセッションの説明 (オプション)。</p> <p>有効な値: 任意のテキスト文字</p>	512	<p>1 次キー? いいえ</p> <p>外部キー? いいえ</p> <p>必須フィールド? いいえ</p> <p>システム生成? いいえ</p> <p>システム生成値をオーバーライド? いいえ</p> <p>ユーザー入力? はい</p> <p>作成時に格納? はい</p> <p>保存時に格納? はい</p> <p>実行時に格納? いいえ</p> <p>構成? いいえ</p>
AudienceName	VARCHAR	非 NULL	<p>セッションのオーディエンス・レベル。セッションの作成後は、この値を変更しないでください。このオーディエンス・レベルで OCT/PCT/POA が生成されます。この有効な値は、構成システムに保管されます。</p> <p>有効な値: 任意のオーディエンス・レベル。</p>	64	<p>1 次キー? いいえ</p> <p>外部キー? いいえ</p> <p>必須フィールド? はい</p> <p>システム生成? いいえ</p> <p>システム生成値をオーバーライド? いいえ</p> <p>ユーザー入力? はい</p> <p>作成時に格納? はい</p> <p>保存時に格納? いいえ</p> <p>実行時に格納? いいえ</p> <p>構成? いいえ</p>

表 7. UACO_OptSession のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
TemplateTable Name	VARCHAR	NULL	これは、すべてのユーザー定義フィールドのテンプレートとして使用されるテーブルの名前です。このテーブルの各フィールドは生成時に PCT に追加されるので、ユーザーは PCT をカスタマイズして、ルールで使用するフィールドを含めることができます。セッションの作成後は、この列の値を変更しないでください。 1) このテーブルはシステム・テーブルの一部である必要があります。 2) この値として NULL を指定できます。これは、セッションでユーザー定義列を使用しないことを意味します。 有効な値: テンプレート・テーブル名の構成にリストされた任意のテーブル。	64	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? いいえ システム生成? いいえ システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? はい 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? 構成からの有効な値。
AgentChannel Name	VARCHAR	NULL		64	1 次キー? いいえ
AgentInfoTemplate Table	VARCHAR	NULL	各テーブルには、エージェントの一意な識別値 (ID) およびエージェントのキャパシティーが含まれます。これらのテーブルは IBM Campaign システム・データベース上に存在している必要があります。	64	1 次キー? いいえ
AgentCustomerRel TemplateTable	VARCHAR	NULL	Agent Customer Relationship テーブルには、エージェントの一意な識別値 (ID) および関連付けられた顧客のオーディエンス ID が含まれます。このテーブルは IBM Campaign システム・データベース上に存在している必要があります。オーディエンス ID のオーディエンス・レベルは、使用している Contact Optimization セッションのオーディエンス・レベルと同じなければなりません。	64	1 次キー? いいえ

表 7. UACO_OptSession のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
PCTName	VARCHAR	非 NULL	これは、このセッションに関連付けられている PCT テーブルの名前です。このテーブルは、システム・テーブルと同じスキーマにあります。このテーブルには、関係するキャンペーンからのすべての推奨コンタクトが含まれます。 有効な値: このテーブル名の形式は、UACO_PCTXXXXXXXXXXXX という形式を使用してソフトウェアで定義されます。「XXXXXXXXXXXX」は 0 で埋め込まれた 10 桁の ACOSessionID です。	64	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? はい
OCTName	VARCHAR	非 NULL	これは、このセッションの OCT テーブルの名前です。OCT には、Contact Optimization が PCT から受け入れたすべてのトランザクションが含まれます。このフィールドは NULL にすることはできません。 有効な値: このテーブル名の形式は、UACO_OCTXXXXXXXXXXXX という形式を使用してソフトウェアで定義されます。「XXXXXXXXXXXX」は 0 で埋め込まれた 10 桁の ACOSessionID です。	64	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? はい

表 7. UACO_OptSession のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
POAName	VARCHAR	非 NULL	これは、このセッションの推奨オファー属性テーブルです。これには、PCT で推奨されるオファーの属性の値が含まれます。 有効な値: このテーブル名の形式は、UACO_POAXXXXXXXXXX という形式を使用してソフトウェアで定義されます。「XXXXXXXXXX」は 0 で埋め込まれた 10 桁の ACOSessionID です。	64	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? はい
TrxnScoreField	VARCHAR	非 NULL	このフィールドには、このセッションに関連する PCT (PCTName を参照) のスコア・フィールドの名前が格納されます。これは、PCT のトランザクションのスコア・フィールドとして使用されます。デフォルトで、この列の値は PCT の "ScorePerOffer" 列です。 有効な値: ユーザー・テンプレート・テーブルからの任意の数値列または ScorePerOffer 列あるいはスコア行列を示す特殊内部値。	64	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? はい ユーザー入力? はい 作成時に格納? はい 保存時に格納? はい 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ

表 7. UACO_OptSession のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
ScoreAllOfferSeg	DOUBLE	非 NULL	これは、値が割り当てられていない オファーまたはセグメントの組み合 わせのためにデフォルトで使用され る、スコア行列からのスコアです。 有効な値: 任意の正の数値のスコ ア。	53	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? い いえ システム生成? い いえ システム生成値をオー バーライド? い いえ ユーザー入力? はい 作成時に格納? はい 保存時に格納? はい 実行時に格納? い いえ 構成? い いえ
SessionStatusID	BIGINT	非 NULL	セッションの状況。この列で有効な 値については、UACO_SesnStatus テ ーブルを参照してください。 有効な値: この列で有効な値につ いては、UACO_SesnStatus テーブルを 参照してください。	19	1 次キー? いいえ 外部キー? はい 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオー バーライド? い いえ ユーザー入力? い いえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? はい 実行時に格納? はい 構成? DDL の実行時 に割り当てられる。

表 7. UACO_OptSession のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
CustomSettings Flag	INTEGER	NULL		10	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? いいえ システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? はい 作成時に格納? はい 保存時に格納? はい 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ
CustomSettings XML	VARCHAR	NULL		4000	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? いいえ システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? はい 作成時に格納? はい 保存時に格納? はい 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ

表 7. UACO_OptSession のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
CreateDate	TIMESTAMP	非 NULL	このセッションが作成された日時。 有効な値: 有効な日時。	23,3	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? はい
CreateBy	INTEGER	非 NULL	セッションを作成したユーザーの ASM ユーザー ID。 有効な値: 有効な ASM ユーザー ID	10	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ

表 7. UACO_OptSession のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
UpdateDate	TIMESTAMP	非 NULL	オブジェクトが前回更新 (編集および保存) されたサーバー日時。 有効な値: 有効な日時。	23,3	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? はい 実行時に格納? いいえ 構成? はい
UpdateBy	INTEGER	非 NULL	オブジェクトを前回更新したユーザーの ASM ユーザー ID (初回のオブジェクト作成の場合は CreateBy と同じ)。 有効な値: 有効な ASM UserID	10	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? はい 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ

表 7. UACO_OptSession のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
PolicyID	INTEGER	非 NULL	この現行セッションが属するセキュリティー・ポリシーの ID。 有効な値: Marketing Platform の usm_policy テーブルの任意の有効な PolicyID。	10	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? はい ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? はい 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ
ACLID	INTEGER	非 NULL	将来に使用の予定。	10	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? いいえ システム生成? いいえ システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? いいえ 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ

表7. UACO_OptSession のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
LastRunType	VARCHAR	非 NULL	これらの値は、前回実行された Contact Optimization セッションの実行タイプを示します。 有効な値: テスト実行、実稼働実行、実行なし。	64	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? いいえ システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? はい 実行時に格納? はい 構成? いいえ

表8. UACO_OptSession の親テーブル

テーブル名	説明
UACO_SesnStatus	このテーブルには、Contact Optimization セッション状況の有効な値のルックアップが含まれます。このテーブルには、Contact Optimization の特定のリリースで予期されている値が入っています。
UA_Folder	

表9. UACO_OptSession の子テーブル

テーブル名	説明
UA_OptimizeProcess	このテーブルの項目は、IBM Campaign フローチャートに表示される単一の最適化プロセス・ボックスを表します。
UACO_Rule	このテーブルには、Contact Optimization セッションで使用されるルール的基本的な説明が含まれます。
UACO_SesnOffer	このテーブルは、このセッションで使用されるスコア行列と「表示するオファー」の 2 つの項目の定義に寄与します。
UACO_SesnRunHist	このテーブルには、実行されたセッションの実行の履歴が含まれます。これは、特定の執行によって生成されたレポート・ファイルを参照します。
UACO_SesnSegment	このテーブルは、このセッションで使用されるスコア行列と「表示するセグメント」の 2 つの項目の定義に寄与します。

UACO_PCTBase

これは、PCT の生成に使用する基本テーブルです。このテーブルの列はすべて PCT に自動的に表示されます。

表 10. UACO_PCTBase のフィールドの説明

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
ContactID	BIGINT	非 NULL	特定のフローチャートから発生する潜在的コンタクトの固有 ID (Contact Optimization によって割り当てられる)。この番号は、フローチャート全体で固有の番号です。このフィールドは PCT に現れます。 有効な値: Optimize ID に固有の増分する正数。	19	1 次キー? はい 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? はい 構成? いいえ
OptimizeID	BIGINT	非 NULL	このトランザクションを生成した最適化プロセスのプロセス・ボックス ID。このフィールドは PCT に現れます。 有効な値: 生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値と internalIDUpperLimit 構成パラメーター値の範囲内にある、グローバルに一意的な正整数。	19	1 次キー? はい 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? はい 構成? いいえ

表 10. UACO_PCTBase のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
ScorePerOffer	DOUBLE	非 NULL	このフィールドには、IBM Campaign によって提供される特定のトランザク ションのスコアが含まれます。このフ ィールドは PCT に現れます。 有効な値: 負ではない任意の数値。	53	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? いいえ システム生成値をオー バーライド? いいえ ユーザー入力? はい 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? はい 構成? いいえ
CostPerOffer	DOUBLE	非 NULL	このフィールドには、IBM Campaign によって提供される特定のトランザク ションのコストが含まれます。このフ ィールドは PCT に現れます。 有効な値: 負ではない任意の数値。	53	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? いいえ システム生成値をオー バーライド? いいえ ユーザー入力? はい 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? はい 構成? いいえ

表 10. UACO_PCTBase のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
OfferID	BIGINT	非 NULL	<p>推奨されるオファーの ID。このフィールドは PCT に現れます。</p> <p>有効な値: 生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値と internalIDUpperLimit 構成パラメーター値の範囲内にある、グローバルに一意的な正整数。</p>	19	<p>1 次キー? いいえ</p> <p>外部キー? いいえ</p> <p>必須フィールド? はい</p> <p>システム生成? いいえ</p> <p>システム生成値をオーバーライド? いいえ</p> <p>ユーザー入力? はい</p> <p>作成時に格納? はい</p> <p>保存時に格納? いいえ</p> <p>実行時に格納? はい</p> <p>構成? いいえ</p>
ContactDateTime	TIMESTAMP	非 NULL	<p>このトランザクションが受信者に届く予定の日時。このフィールドは PCT に現れます。</p> <p>有効な値: 有効な日時。</p>	23,3	<p>1 次キー? いいえ</p> <p>外部キー? いいえ</p> <p>必須フィールド? はい</p> <p>システム生成? はい</p> <p>システム生成値をオーバーライド? はい</p> <p>ユーザー入力? はい</p> <p>作成時に格納? はい</p> <p>保存時に格納? いいえ</p> <p>実行時に格納? はい</p> <p>構成? はい</p>

表 10. UACO_PCTBase のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
Channel	VARCHAR	非 NULL	このオファーの送達に使用されるチャネル。(チャネルはオファー属性ですが、Contact Optimization がトランザクションを最適化するために必要であるため、このテーブルに非正規化されます。ルールはチャネルに基づいて構築される場合があるからです。) このフィールドは PCT に現れます。 有効な値: 任意のテキスト文字。	64	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? いいえ システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? はい 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? はい 構成? いいえ
OfferCRC	BIGINT	非 NULL	これは、オファーおよびそのすべての属性に対して生成される CRC です。これを使用することで、オファーのバージョンの違いを素早く識別できます。これは、レポートのためだけに使用されます。 有効な値: 任意の数値。	19	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? はい 構成? いいえ

表 10. UACO_PCTBase のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
CellCode	VARCHAR	非 NULL	この受信者に対して IBM Campaign で割り当てられるセル・コード。 有効な値: サーバー・システム・コード CellCodeFormat 構成パラメーター によって指定されるセル・コード形式 を満たす任意の文字列。	64	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオー バーライド? はい ユーザー入力? はい 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? はい 構成? はい
TempOfferHistID	BIGINT	非 NULL	この ID は、オファー属性の固有の セットを相関させるために使用しま す。多くのオファーが同じオファー履 歴 ID を持つことになる場合がある からです。 有効な値: 任意の数値。	19	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオー バーライド? はい ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? はい 構成? いいえ

UACO_POABase

このテーブルには、セッションのパラメーター化オファー属性 (POA) テーブルの作成に使用するすべての列が含まれます。

表 11. UACO_POABase のフィールドの説明

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
TempOfferHistID	BIGINT	非 NULL	特定のフローチャートから発生する潜在的なコンタクトの固有 ID。この番号は、フローチャート全体で固有の番号です。このフィールドは、特定のセッションの POA に現れます。 有効な値: 任意の数値。	19	1 次キー? はい 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? はい 構成? いいえ
OptimizeID	BIGINT	非 NULL	これは PCTBase の OptimizeID と同じですが、削除操作を高速化するためにこのテーブルに非正規化されます。	19	1 次キー? はい 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? はい 実行時に格納? はい 構成? いいえ

表 11. UACO_POABase のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
AttributeID	BIGINT	非 NULL	オファー属性の ID。 PCT に含まれているオファーはどれも、このテーブルに 0 個以上の属性を持ちます。PCT に含まれているすべてのオファーの属性はどれも、このテーブルに固有値が収められています。このフィールドは、特定のセッションの POA に現れます。	19	1 次キー? はい 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? はい 実行時に格納? はい 構成? いいえ
StringValue	VARCHAR	NULL	どの行についても、StringValue、NumberValue、またはDatetimeValue という 3 つのフィールドのうちの 1 つだけにデータが取り込まれます。データが取り込まれるフィールドは、この AttributeID の UA_AttributeDef.AttributeType フィールドに基づいて決まります。通貨は NumberValue に取り込まれます。このフィールドは、特定のセッションの POA に現れます。 有効な値: 任意のテキスト文字。	512	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? いいえ システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? はい 構成? いいえ

表 11. UACO_POABase のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
NumberValue	DOUBLE	NULL	<p>どの行についても、StringValue、NumberValue、またはDatetimeValue という 3 つのフィールドのうちの 1 つだけにデータが取り込まれます。データが取り込まれるフィールドは、この AttributeID の UA_AttributeDef.AttributeType フィールドに基づいて決まります。通貨は NumberValue に取り込まれます。このフィールドは、特定のセッションの POA に現れます。</p> <p>有効な値: 任意の数値。</p>	53	<p>1 次キー? いいえ</p> <p>外部キー? いいえ</p> <p>必須フィールド? いいえ</p> <p>システム生成? はい</p> <p>システム生成値をオーバーライド? いいえ</p> <p>ユーザー入力? いいえ</p> <p>作成時に格納? はい</p> <p>保存時に格納? いいえ</p> <p>実行時に格納? はい</p> <p>構成? いいえ</p>
DatetimeValue	TIMESTAMP	NULL	<p>どの行についても、StringValue、NumberValue、またはDatetimeValue という 3 つのフィールドのうちの 1 つだけにデータが取り込まれます。データが取り込まれるフィールドは、この AttributeID の UA_AttributeDef.AttributeType フィールドに基づいて決まります。通貨は NumberValue に取り込まれます。このフィールドは、特定のセッションの POA に現れます。</p> <p>有効な値: 有効な日時。</p>	23,3	<p>1 次キー? いいえ</p> <p>外部キー? いいえ</p> <p>必須フィールド? いいえ</p> <p>システム生成? はい</p> <p>システム生成値をオーバーライド? いいえ</p> <p>ユーザー入力? いいえ</p> <p>作成時に格納? はい</p> <p>保存時に格納? いいえ</p> <p>実行時に格納? はい</p> <p>構成? はい</p>

UACO_RConstraint

このテーブルには、ルールごとに、ルールの制約の一般的なタイプとその値のセットが、特定のサブセクションへの関連付けに従って収められています。

表 12. UACO_RConstraint のフィールドの説明

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
RuleID	BIGINT	非 NULL	ルールのインスタンスを識別するために使用されるシステム生成の固有 ID。 有効な値: 生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値と internalIDUpperLimit 構成パラメーター値の範囲内にある、グローバルに一意的な正整数。	19	1 次キー? はい 外部キー? はい 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ
RCTypeID	BIGINT	非 NULL	ルールの制約のタイプ。 有効な値: 1 = MinCost (浮動小数点 >=0) 2 = MaxCost (浮動小数点 >=0) 3 = MinCount (数値 >= 0) 4 = MaxCount (数値 >=0) 5 = 日数 (0 = この最適化期間) 6 = フィルターの副照会 (XML) 7 = チャンネル・フィルターの副照会 (XML) 8 = 感度が有効かどうか (1 = 有効、0 = 無効)	19	1 次キー? はい 外部キー? はい 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? DDL の実行時に作成される。

表 12. UACO_RConstraint のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
RuleSubsectionID	BIGINT	非 NULL	特定の制約が属するルールの部分を識別する ID。例えば、ルールの制約に 1 つの部分しかない場合、その制約は必ずセクション A の部分になりますが、ルールに複数の部分がある場合 (A/B ルール)、A と B の両方に制約があります。 有効な値: 1 = セクション A 2 = セクション B	19	1 次キー? はい 外部キー? はい 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? DDL の実行時に作成される。
StringValue	VARCHAR	非 NULL	どの制約タイプにも固有の有効な値セットがあります。XML をこのフィールドに保管する制約もあれば、数値をこのフィールドに保管する制約もあります。例えば、MinCost 制約の値が 10.12 であれば、列に入るストリングは "10.12" になります。 有効な値: ルールの制約タイプによって異なる (詳しくは、RCTypeID の有効な値を参照)。	2048	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? はい ユーザー入力? はい 作成時に格納? はい 保存時に格納? はい 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ

表 13. UACO_RConstraint の親テーブル

テーブル名	説明
UACO_Rule	このテーブルには、Contact Optimization セッションで使用されるルールの基本的な説明が含まれます。
UACO_RCType	このテーブルには、ルールの制約の有効な値のルックアップが含まれます。このテーブルには、Contact Optimization の特定のリリースで予期されている値が入っています。
UACO_RSubsection	このテーブルには、有効なサブセクション値のルックアップが含まれます。このテーブルには、Contact Optimization の特定のリリースで予期されている値が入っています。

UACO_RCType

このテーブルには、ルールの制約の有効な値のルックアップが含まれます。このテーブルには、Contact Optimization の特定のリリースで予期されている値が入っています。

表 14. UACO_RCType のフィールドの説明

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
RCTypeID	BIGINT	非 NULL	ルールの制約のタイプ。 有効な値: 1 = MinCost (浮動小数点 >=0) 2 = MaxCost (浮動小数点 >=0) 3 = MinCount (数値 >= 0) 4 = MaxCount (数値 >=0) 5 = 日数 (0 = この最適化期間) 6 = フィルターの副照会 (XML) 7 = チャンネル・フィルターの副照会 (XML) 8 = 感度が有効かどうか (1 = 有効、0 = 無効)	19	1 次キー? はい 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? いいえ システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? いいえ 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? DDL の実行時に作成される。
Description	VARCHAR	NULL	ルールの制約のタイプの説明。 有効な値: 任意のテキスト文字。	64	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? いいえ システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? いいえ 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? DDL の実行時に作成される。

表 15. UACO_RCType の子テーブル

テーブル名	説明
UACO_RConstraint	このテーブルには、ルールごとに、ルールの制約の一般的なタイプとその値のセットが、特定のサブセクションへの関連付けに従って収められています。

UACO_REException

このテーブルは、ユーザーによって追加される例外ルールをリストを保管するために使用されます。

表 16. UACO_REException のフィールドの説明

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
RuleExID	BIGINT	非 NULL	例外ルール ID。 有効な値: 正整数	19	1 次キー? はい 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? いいえ システム生成値をオーバーライド? はい ユーザー入力? はい 作成時に格納? いいえ 保存時に格納? はい 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ
RuleID	BIGINT	非 NULL	有効な値: 生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメータ 一値と internalIDUpperLimit 構成パラ メータ値の範囲内にある、グローバ ルに一意的な正整数。	19	1 次キー? いいえ 外部キー? はい 必須フィールド? はい システム生成? いいえ システム生成値をオーバーライド? はい ユーザー入力? はい 作成時に格納? いいえ 保存時に格納? はい 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ

表 16. UACO_REException のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
RuleExName	VARCHAR	NULL	例外ルールの名前。 有効な値: テキスト	64	1次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? いいえ システム生成値をオーバーライド? はい ユーザー入力? はい 作成時に格納? いいえ 保存時に格納? はい 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ

表 17. UACO_REException の親テーブル

テーブル名	説明
UACO_Rule	このテーブルには、Contact Optimization セッションで使用されるルールの基本的な説明が含まれます。

表 18. UACO_REException の子テーブル

テーブル名	説明
UACO_RExConstraint	このテーブルは、例外制約とその値のリストを保管するために使用されます。

UACO_RExConstraint

このテーブルは、例外制約とその値のリストを保管するために使用されます。

表 19. UACO_RExConstraint のフィールドの説明

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
RuleExID	BIGINT	NULL	例外ルール ID。 有効な値: 正整数	19	1 次キー? はい 外部キー? はい 必須フィールド? はい システム生成? いいえ システム生成値をオーバーライド? はい ユーザー入力? はい 作成時に格納? いいえ 保存時に格納? はい 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ
RExTypeID	BIGINT	NULL	例外制約タイプ ID。 有効な値: 正整数	19	1 次キー? はい 外部キー? はい 必須フィールド? はい システム生成? いいえ システム生成値をオーバーライド? はい ユーザー入力? はい 作成時に格納? いいえ 保存時に格納? はい 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ

表 19. UACO_RExConstraint のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
StringValue	VARCHAR	非 NULL	例外制約の値。 有効な値: テキスト	1024	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? いいえ システム生成? いいえ システム生成値をオーバーライド? はい ユーザー入力? はい 作成時に格納? いいえ 保存時に格納? はい 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ

表 20. UACO_RExConstraint の親テーブル

テーブル名	説明
UACO_RExType	このテーブルは、サポートされている例外制約タイプのリストを保管するために使用されます。
UACO_RException	このテーブルは、ユーザーによって追加される例外ルールのリストを保管するために使用されます。

UACO_RExType

このテーブルは、サポートされている例外制約タイプのリストを保管するために使用されます。

表 21. UACO_RExType のフィールドの説明

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
RExTypeID	BIGINT	非 NULL	例外制約タイプ ID。 有効な値: 正整数	19	1 次キー? はい 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ
説明	VARCHAR	NULL	例外制約タイプの説明。 有効な値: テキスト	64	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? いいえ システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ

表 22. UACO_RExType の子テーブル

テーブル名	説明
UACO_RExConstraint	このテーブルは、例外制約とその値のリストを保管するために使用されます。

UACO_ROffer

このテーブルには、サブセクションのルールを制約するオファ어의セットが含まれます。

表 23. UACO_ROffer のフィールドの説明

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
RuleID	BIGINT	非 NULL	ルールのインスタンスを識別するために使用されるシステム生成の固有 ID。 有効な値: UACO_RConstraint テーブルの任意の有効な RuleID。	19	1 次キー? はい 外部キー? はい 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ
OfferID	BIGINT	非 NULL	このルールの適用対象とするオファ어의固有 ID。 有効な値: UA_Offer テーブルの任意の有効な OfferID。	19	1 次キー? はい 外部キー? はい 必須フィールド? はい システム生成? いいえ システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? はい 作成時に格納? はい 保存時に格納? はい 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ

表 23. UACO_ROffer のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
RuleSubsectionID	BIGINT	非 NULL	特定の制約が属するルールの部分 を識別する ID。例えば、ルール の制約に 1 つの部分しかない場 合、その制約は必ずセクション A の部分になりますが、ルールに複 数の部分がある場合 (A/B ルール) 、A と B の両方に制約があります。 有効な値: 1 = セクション A 2 = セ クション B	19	1 次キー? はい 外部キー? はい 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? いいえ 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ

表 24. UACO_ROffer の親テーブル

テーブル名	説明
UACO_Rule	このテーブルには、Contact Optimization セッションで使用されるルールの基本的な説明が含まれます。
UACO_RSubsection	このテーブルには、有効なサブセクション値のルックアップが含まれます。このテーブルには、Contact Optimization の特定のリリースで予期されている値が入っています。
UA_Offer	

UACO_ROfferList

このテーブルには、サブセクションのルールを制約するオファー・リストのセットが含まれます。

表 25. UACO_ROfferList のフィールドの説明

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
OfferListID	BIGINT	非 NULL	このルールの有効範囲で使用されるオファー・リストの ID。 有効な値: UA_OfferList テーブルの任意の有効な OfferListID。	19	1 次キー? はい 外部キー? はい 必須フィールド? はい システム生成? いいえ システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? はい 作成時に格納? はい 保存時に格納? はい 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ
RuleID	BIGINT	非 NULL	ルールのインスタンスを識別するために使用されるシステム生成の固有 ID。 有効な値: UACO_RConstraint テーブルの任意の有効な RuleID。	19	1 次キー? はい 外部キー? はい 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ

表 25. UACO_ROfferList のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
RuleSubsectionID	BIGINT	非 NULL	特定の制約が属するルールの部分を識別する ID。例えば、ルールの制約に 1 つの部分しかない場合、その制約は必ずセクション A の部分になりますが、ルールに複数の部分がある場合 (A/B ルール)、A と B の両方に制約があります。 有効な値: 1 = セクション A 2 = セクション B	19	1 次キー? はい 外部キー? はい 必須フィールド? はい システム生成? いいえ システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? いいえ 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? DDL の実行時に作成される。

表 26. UACO_ROfferList の親テーブル

テーブル名	説明
UACO_Rule	このテーブルには、Contact Optimization セッションで使用されるルールの基本的な説明が含まれます。
UA_OfferList	
UACO_RSubsection	このテーブルには、有効なサブセクション値のルックアップが含まれます。このテーブルには、Contact Optimization の特定のリリースで予期されている値が入っています。

UACO_RSegment

このテーブルには、特定のサブセクションのルールを制約するセグメントのセットが含まれます。

表 27. UACO_RSegment のフィールドの説明

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
SegmentID	BIGINT	非 NULL	ルールの有効範囲となる戦略的セグメントの ID。 有効な値: UA_Segment テーブルの任意の有効な SegmentID。	19	1 次キー? はい 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? いいえ システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? はい 作成時に格納? はい 保存時に格納? はい 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ
RuleID	BIGINT	非 NULL	ルールのインスタンスを識別するために使用されるシステム生成の固有 ID。 有効な値: 生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメータ値と internalIDUpperLimit 構成パラメータ値の範囲内にある、グローバルに一意な正整数。	19	1 次キー? はい 外部キー? はい 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ

表 27. UACO_RSegment のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
RuleSubsectionID	BIGINT	非 NULL	特定の制約が属するルールの部分 を識別する ID。例えば、ルールの制約に 1 つの部分しかない場合、その制約は 必ずセクション A の部分になります が、ルールに複数の部分がある場合 (A/B ルール)、A と B の両方に制約 があります。 有効な値: 1 = セクション A 2 = セ クション B	19	1 次キー? はい 外部キー? はい 必須フィールド? はい システム生成? いいえ システム生成値をオー バーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ

表 28. UACO_RSegment の親テーブル

テーブル名	説明
UACO_Rule	このテーブルには、Contact Optimization セッションで使用されるルールの基 本的な説明が含まれます。
UACO_RSubsection	このテーブルには、有効なサブセクション値のルックアップが含まれます。 このテーブルには、Contact Optimization の特定のリリースで予期されている 値が入っています。

UACO_RSubsection

このテーブルには、有効なサブセクション値のルックアップが含まれます。このテーブルには、Contact Optimization の特定のリリースで予期されている値が入っています。

表 29. UACO_RSubsection のフィールドの説明

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
RuleSubsectionID	BIGINT	非 NULL	特定の制約が属するルールの部分を識別する ID。例えば、ルールの制約に 1 つの部分しかない場合、その制約は必ずセクション A の部分になりますが、ルールに複数の部分がある場合 (A/B ルール)、A と B の両方に制約があります。 有効な値: 1= セクション A 2 = セクション B	19	1 次キー? はい 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? いいえ システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? いいえ 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? DDL の実行時に作成される。
説明	VARCHAR	NULL	ルール・サブセクションの説明。 有効な値: 任意のテキスト文字。	64	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? いいえ システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? いいえ 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? DDL の実行時に作成される。

表 30. UACO_RSubsection の子テーブル

テーブル名	説明
UACO_RConstraint	このテーブルには、ルールごとに、ルールの制約の一般的なタイプとその値のセットが、特定のサブセクションへの関連付けに従って収められています。

表 30. UACO_RSubsection の子テーブル (続き)

テーブル名	説明
UACO_ROffer	このテーブルには、サブセクションのルールを制約するオファーのセットが含まれます。
UACO_ROfferList	このテーブルには、サブセクションのルールを制約するオファー・リストのセットが含まれます。
UACO_RSegment	このテーブルには、特定のサブセクションのルールを制約するセグメントのセットが含まれます。

UACO_Rule

このテーブルには、Contact Optimization セッションで使用されるルールの基本的な説明が含まれます。

表 31. UACO_Rule のフィールドの説明

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
RuleID	BIGINT	非 NULL	ルールのインスタンスを識別するために使用されるシステム生成の固有 ID。 有効な値: 生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメータ値と internalIDUpperLimit 構成パラメータ値の範囲内にある、グローバルに一意な正整数。	19	1 次キー? はい 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ

表 31. UACO_Rule のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
名前	VARCHAR	非 NULL	<p>ルールの名前。同じセッション内では、ルール名が固有である必要があります。</p> <p>有効な値: 任意のテキスト文字 (名前に用いることが一般的に禁止されている特殊文字は除く)。セッション内で固有の名前である必要があります。</p>	64	<p>1 次キー? いいえ</p> <p>外部キー? いいえ</p> <p>必須フィールド? はい</p> <p>システム生成? いいえ</p> <p>システム生成値をオーバーライド? いいえ</p> <p>ユーザー入力? はい</p> <p>作成時に格納? はい</p> <p>保存時に格納? はい</p> <p>実行時に格納? いいえ</p> <p>構成? いいえ</p>
説明	VARCHAR	NULL	<p>ルールの説明 (オプション)。</p> <p>有効な値: 任意のテキスト文字</p>	512	<p>1 次キー? いいえ</p> <p>外部キー? いいえ</p> <p>必須フィールド? いいえ</p> <p>システム生成? いいえ</p> <p>システム生成値をオーバーライド? いいえ</p> <p>ユーザー入力? はい</p> <p>作成時に格納? はい</p> <p>保存時に格納? はい</p> <p>実行時に格納? いいえ</p> <p>構成? いいえ</p>

表 31. UACO_Rule のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
RuleTypeID	BIGINT	非 NULL	ルールのタイプ。 有効な値: 1 = 顧客、付加/除外のみ 2 = 対話、付加/除外のみ 3 = 最小/ 最大オファー数 4 = 最大パッケージ 数 5 = 最小/最大総コスト 6 = 最小/ 最大オファー数 7 = 使用されない 8 = 一意のオファーの最小数 9 = 最大 重複数 10 = A と B を共に送らない 11 = A の後に B を送らない 12 = A を送った場合のみ B を送る	19	1 次キー? いいえ 外部キー? はい 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオー バーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ
RuleSubtypeID	BIGINT	非 NULL	ルール・タイプをさらに限定するた めの ID。 有効な値: 1 = なし 2 = 付加 3 - 除 外	19	1 次キー? いいえ 外部キー? はい 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオー バーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ

表 31. UACO_Rule のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
ACOSessionID	BIGINT	非 NULL	ルールが属するセッションを一意的に識別する ID。 有効な値: UACO_OptSession テーブルの任意の有効な ACOSessionID。	19	1 次キー? いいえ 外部キー? はい 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ
CreateDate	TIMESTAMP	非 NULL	ルールが作成されたサーバー日時。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? はい

表 31. UACO_Rule のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
CreateBy	INTEGER	非 NULL	このルールを作成したユーザーの ASM ユーザー ID。 有効な値: 有効な ASM ユーザー ID	10	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ
UpdateDate	TIMESTAMP	非 NULL	ルールが前回更新 (編集および保存) されたサーバー日時。初回のルール作 成の場合は CreateDate と同じ。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? はい 実行時に格納? いいえ 構成? はい

表 31. UACO_Rule のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
UpdateBy	INTEGER	非 NULL	ルールを前回更新したユーザーの ASM ユーザー ID (初回のルール作 成の場合は CreateBy と同じ)。 有効な値: 有効な ASM ユーザー ID	10	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオー バーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? はい 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ

表 32. UACO_Rule の親テーブル

テーブル名	説明
UACO_RuleType	このテーブルには、セッション内で作成されるルールでデータ保全性を施行するために使用されるルール・タイプのルックアップが含まれます。このテーブルには、Contact Optimization の特定のリリースで予期されている値が入っています。
UACO_RuleSubtype	このテーブルには、ルールを説明するために使用するルール・サブタイプのルックアップが含まれます。このテーブルには、Contact Optimization の特定のリリースで予期されている値が入っています。
UACO_OptSession	このテーブルの項目は、単一の Contact Optimization セッションとそのすべてのメタデータを表します。

表 33. UACO_Rule の子テーブル

テーブル名	説明
UACO_RConstraint	このテーブルには、ルールごとに、ルールの制約の一般的なタイプとその値のセットが、特定のサブセクションへの関連付けに従って収められています。
UACO_RException	このテーブルは、ユーザーによって追加される例外ルールのリストを保管するために使用されます。
UACO_ROffer	このテーブルには、サブセクションのルールを制約するオファーのセットが含まれます。
UACO_ROfferList	このテーブルには、サブセクションのルールを制約するオファー・リストのセットが含まれます。
UACO_RSegment	このテーブルには、特定のサブセクションのルールを制約するセグメントのセットが含まれます。

UACO_RuleSubtype

このテーブルには、ルールを説明するために使用するルール・サブタイプのルックアップが含まれます。このテーブルには、Contact Optimization の特定のリリースで予期されている値が入っています。

表 34. UACO_RuleSubtype のフィールドの説明

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
RuleSubtypeID	BIGINT	非 NULL	ルール・タイプをさらに限定するための ID。 有効な値: 1 = なし 2 = 付加 3 = 除外	19	1 次キー? はい 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? いいえ システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? いいえ 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? DDL の実行時に作成される。
説明	VARCHAR	非 NULL	このルール・サブタイプの説明。 有効な値: 任意のテキスト文字。	64	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? いいえ システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? いいえ 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? DDL の実行時に作成される。

表 35. UACO_RuleSubtype の子テーブル

テーブル名	説明
UACO_Rule	このテーブルには、Contact Optimization セッションで使用されるルールの基本的な説明が含まれます。

UACO_RuleType

このテーブルには、セッション内で作成されるルールでデータ保全性を施行するために使用されるルール・タイプのルックアップが含まれます。このテーブルには、Contact Optimization の特定のリリースで予期されている値が入っています。

表 36. UACO_RuleType のフィールドの説明

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
RuleTypeID	BIGINT	非 NULL	ルール・タイプの ID。 有効な値: 1 = 顧客、付加/除外のみ 2 = 対話、付加/除外のみ 3 = 最小/最大オファー数 4 = 最大パッケージ数 5 = 最小/最大総コスト 6 = 最小/最大オファー数 7 = 使用されない 8 = 一意のオファーの最小数 9 = 最大重複数 10 = A と B を共に送らない 11 = A の後に B を送らない 12 = A を送った場合のみ B を送る	19	1 次キー? はい 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? いいえ システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? いいえ 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? DDL の実行時に作成される。
説明	VARCHAR	NULL	ルール・タイプの説明。 有効な値: 任意の文字ストリング。	64	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? いいえ システム生成? いいえ システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? いいえ 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? DDL の実行時に作成される。

表 37. UACO_RuleType の子テーブル

テーブル名	説明
UACO_Rule	このテーブルには、Contact Optimization セッションで使用されるルールの基本的な説明が含まれます。

UACO_SesnOffer

このテーブルは、このセッションで使用されるスコア行列と「表示するオファー」の 2 つの項目の定義に寄与します。

表 38. UACO_SesnOffer のフィールドの説明

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
OfferID	BIGINT	非 NULL	最適化セッションに含まれるオファーの固有 ID。 有効な値: UA_Offer テーブルの任意の有効な OfferID。	19	1 次キー? はい 外部キー? はい 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? はい 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ
ACOSessionID	BIGINT	非 NULL	Contact Optimization セッションを一意的に識別する ID。 有効な値: UACO_OptSession テーブルの任意の有効な ACOSessionID。	19	1 次キー? はい 外部キー? はい 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ

表 38. UACO_SesnOffer のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
OfferOrder	INTEGER	非 NULL	この値は、レポートでオファーを表示する順序を指定するために使用されます。 有効な値: この ACOSessionID を表す、すべての項目に渡って固有の番号。増加していく非ゼロの正整数でなければなりません。	10	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? はい ユーザー入力? はい 作成時に格納? はい 保存時に格納? はい 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ
ScoreAllSegments	DOUBLE	非 NULL	これは、現在行で指定されている OfferID との間のスコア値が UACO_OfferSeg にないすべてのセグメントのためのスコアです。スコア行列を評価する際、オファーとセグメントの組み合わせに対する明示的な値が UACO_OfferSeg テーブルから得られない場合、このスコアが使用されます。 有効な値: 任意の正の数値。	53	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? いいえ システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? はい 作成時に格納? はい 保存時に格納? はい 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ

表 38. UACO_SesnOffer のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
Enable	INTEGER	非 NULL	この値は、ScoreAllSegments に保管される値が有効であることを示す標識として使用されます。この値が 1 に設定される場合、ScoreAllSegments の値が使用されます。それ以外の場合、オファーとセグメントの交差部のスコアを判別する際にこの値は無視されます。 有効な値: 0 または 1	10	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? いいえ システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? はい 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ

表 39. UACO_SesnOffer の親テーブル

テーブル名	説明
UA_Offer	
UACO_OptSession	このテーブルの項目は、単一の Contact Optimization セッションとそのすべてのメタデータを表します。

表 40. UACO_SesnOffer の子テーブル

テーブル名	説明
UACO_OfferSeg	このテーブルには、スコア行列のオファーとセグメントの交差部で使用されるスコアが含まれます。

UACO_SesnRunHist

このテーブルには、実行されたセッションの実行の履歴が含まれます。これは、特定の実行によって生成されたレポート・ファイルを参照します。

表 41. UACO_SesnRunHist のフィールドの説明

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
RunID	BIGINT	非 NULL	セッション実行の ID。特定のセッションを実行するたびに、この数値は自動的に増分されます。 有効な値: 生成値の internalIDLowerLimit 構成パラメーター値と internalIDUpperLimit 構成パラメーター値の範囲内にある、グローバルに一意的な正整数。	19	1 次キー? はい 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ
ACOSessionID	BIGINT	非 NULL	各セッションを一意的に識別する ID。 有効な値: UACO_OptSession テーブルの任意の有効な ACOSessionID。	19	1 次キー? はい 外部キー? はい 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ

表 41. UACO_SesnRunHist のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
RunBy	INTEGER	非 NULL	セッションを前回実行したユーザーの ASM ユーザー ID。 有効な値: 有効な ASM UserID	10	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオー バーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ
StartTime	TIMESTAMP	非 NULL	セッション実行が開始された日時。 有効な値: 有効な日時	23,3	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオー バーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? はい

表 41. UACO_SesnRunHist のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
EndTime	TIMESTAMP	NULL	セッション実行が完了された日時。 有効な値: 有効な日時。	23,3	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? いいえ 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? はい 構成? はい
FinalStatus	VARCHAR	NULL	セッション実行の最終状況の XML ストリング。 有効な値: XML ストリング。	1028	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? はい 構成? いいえ

表 41. UACO_SesnRunHist のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
ReportFileName	VARCHAR	非 NULL	この特定のセッション実行で生成されるレポート・ファイルの名前。 有効な値: ACOsessionID を使用してシステムで生成される任意の有効なファイル名。	64	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ
RunTypeID	BIGINT	非 NULL	実行のタイプ。 有効な値: 1 = 実稼働実行 2 = テスト実行	19	1 次キー? いいえ 外部キー? はい 必須フィールド? はい システム生成? いいえ システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? いいえ 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? DDL の実行時に生成される

表 42. UACO_SesnRunHist の親テーブル

テーブル名	説明
UACO_SesnRunType	このテーブルには、有効な実行タイプのルックアップが含まれます。このテーブルには、Contact Optimization の特定のリリースで予期されている値が入っています。
UACO_OptSession	このテーブルの項目は、単一の Contact Optimization セッションとそのすべてのメタデータを表します。

UACO_SesnRunType

このテーブルには、有効な実行タイプのルックアップが含まれます。このテーブルには、Contact Optimization の特定のリリースで予期されている値が入っています。

表 43. UACO_SesnRunType のフィールドの説明

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
RunTypeID	BIGINT	非 NULL	これは、IBM Campaign セッション実行タイプを列挙します (テスト・モードを除く)。 有効な値: 1 = 実稼働実行 2 = テスト実行	19	1 次キー? はい 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? いいえ システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? いいえ 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? DDL の実行時に生成される
説明	VARCHAR	NULL	実行タイプの説明。 有効な値: 任意の文字。	64	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? いいえ システム生成? いいえ システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? いいえ 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? DDL の実行時に生成される。

表 44. UACO_SesnRunType の子テーブル

テーブル名	説明
UACO_SesnRunHist	このテーブルには、実行されたセッションの実行の履歴が含まれます。これは、特定の実行によって生成されたレポート・ファイルを参照します。

UACO_SesnSegment

このテーブルは、このセッションで使用されるスコア行列と「表示するセグメント」の 2 つの項目の定義に寄与します。

表 45. UACO_SesnSegment のフィールドの説明

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
SegmentID	BIGINT	非 NULL	戦略的セグメントの ID。 有効な値: UA_Segment テーブルの任意の SegmentID。	19	1 次キー? はい 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? はい 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ
ACOSessionID	BIGINT	非 NULL	各セッションを一意的に識別する ID。 有効な値: UACO_OptSession テーブルの任意の有効な ACOSessionID。	19	1 次キー? はい 外部キー? はい 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ

表 45. UACO_SesnSegment のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
SegmentOrder	INTEGER	非 NULL	<p>スコア行列を適用する際の評価に使用するセグメントの順序。スコア行列の値はセグメントとオファーの組み合わせであるため、理論上はオーディエンス・レベルを複数のセグメントに置くことができます。 SegmentOrder は、最初にチェックされるものを定義します。最初に一致するセグメントがトランザクションのスコアの判別に使用されます。これは、レポートのための表示順序としても使用されます。</p> <p>有効な値: この ACOSessionID を表す、すべての項目に渡って固有の番号。増加していく非ゼロの正整数でなければなりません。</p>	10	<p>1 次キー? いいえ</p> <p>外部キー? いいえ</p> <p>必須フィールド? はい</p> <p>システム生成? はい</p> <p>システム生成値をオーバーライド? はい</p> <p>ユーザー入力? はい</p> <p>作成時に格納? はい</p> <p>保存時に格納? はい</p> <p>実行時に格納? いいえ</p> <p>構成? いいえ</p>
ScoreAllOffers	DOUBLE	非 NULL	<p>これは、現在行で指定されている SegmentID との間のスコア値が UACO_OfferSeg にないすべてのオファーのためのスコアです。スコア行列を評価する際、オファーとセグメントの組み合わせに対する明示的な値が UACO_OfferSeg テーブルから得られない場合、このスコアが使用されます。</p> <p>有効な値: 任意の正の数値。</p>	53	<p>1 次キー? いいえ</p> <p>外部キー? いいえ</p> <p>必須フィールド? はい</p> <p>システム生成? いいえ</p> <p>システム生成値をオーバーライド? いいえ</p> <p>ユーザー入力? はい</p> <p>作成時に格納? はい</p> <p>保存時に格納? はい</p> <p>実行時に格納? いいえ</p> <p>構成? いいえ</p>

表 45. UACO_SesnSegment のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
Enable	INTEGER	非 NULL	この値は、ScoreAllOffers に保管される値が有効であることを示す標識として使用されます。この値が 1 に設定される場合、ScoreAllOffers の値が使用されます。それ以外の場合、オファーとセグメントの交差部のスコアを判別する際にこの値は無視されます。 有効な値: 0 または 1	10	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? はい 保存時に格納? はい 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ

表 46. UACO_SesnSegment の親テーブル

テーブル名	説明
UACO_OptSession	このテーブルの項目は、単一の Contact Optimization セッションとそのすべてのメタデータを表します。

表 47. UACO_SesnSegment の子テーブル

テーブル名	説明
UACO_OfferSeg	このテーブルには、スコア行列のオファーとセグメントの交差部で使用されるスコアが含まれます。

UACO_SesnStatus

このテーブルには、Contact Optimization セッション状況の有効な値のルックアップが含まれます。このテーブルには、Contact Optimization の特定のリリースで予期されている値が入っています。

表 48. UACO_SesnStatus のフィールドの説明

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
SessionStatusID	BIGINT	非 NULL	このセッションの状況。 有効な値: 1 = 空き 2 = ロック	19	1 次キー? はい 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? はい システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? いいえ 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? DDL の実行時に割り当てられる。
説明	VARCHAR	NULL	SessionStatusID の値の説明。 有効な値: 任意のテキスト文字。	64	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? いいえ システム生成? いいえ システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? いいえ 作成時に格納? いいえ 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? DDL の実行時に割り当てられる。

表 49. UACO_SesnStatus の子テーブル

テーブル名	説明
UACO_OptSession	このテーブルの項目は、単一の Contact Optimization セッションとそのすべてのメタデータを表します。

UACO_UserTable

これは、セッションの作成時間中に PCT に対して追加列を定義するためにユーザーが指定できるユーザー・テーブルの例です。

表 50. UACO_UserTable のフィールドの説明

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
CharColumn	CHAR	NULL	char ベースの列をユーザー定義列として使用する例。セッション作成の一部となるようユーザーがこのテーブルを選択する場合、このテーブルの各列は PCT の一部となります。	20	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? いいえ システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? はい 作成時に格納? いいえ 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ
RealColumn	DOUBLE	NULL	real ベースの列をユーザー定義列として使用する例。セッション作成の一部となるようユーザーがこのテーブルを選択する場合、このテーブルの各列は PCT の一部となります。	53	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? いいえ システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? はい 作成時に格納? いいえ 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ

表 50. UACO_UserTable のフィールドの説明 (続き)

フィールド名	型	NULL?	説明	長さ	追加の属性
IntColumn	BIGINT	非 NULL	int ベースの列をユーザー定義列として使用する例。セッション作成の一部となるようユーザーがこのテーブルを選択する場合、このテーブルの各列は PCT の一部となります。	19	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? いいえ システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? はい 作成時に格納? いいえ 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ
VarCharColumn	VARCHAR	NULL	varchar ベースの列をユーザー定義列として使用する例。セッション作成の一部となるようユーザーがこのテーブルを選択する場合、このテーブルの各列は PCT の一部となります。	64	1 次キー? いいえ 外部キー? いいえ 必須フィールド? はい システム生成? いいえ システム生成値をオーバーライド? いいえ ユーザー入力? はい 作成時に格納? いいえ 保存時に格納? いいえ 実行時に格納? いいえ 構成? いいえ

IBM 技術サポートへのお問い合わせ

資料を参照しても解決できない問題が発生した場合は、貴社の指定サポート窓口から IBM 技術サポートにお問い合わせすることができます。問題を効率的に首尾よく確実に解決するには、問い合わせる前に情報を収集してください。

貴社の指定サポート窓口以外の方は、社内の IBM 管理者にお問い合わせください。

収集する情報

IBM 技術サポートに連絡する前に、以下の情報を収集しておいてください。

- 問題の性質についての簡単な説明
- 問題の発生時に表示されるエラー・メッセージの詳細。
- 問題を再現するための詳しい手順。
- 関連するログ・ファイル、セッション・ファイル、構成ファイル、およびデータ・ファイル。
- 「システム情報」の説明に従って入手できる、製品およびシステム環境に関する情報。

システム情報

IBM 技術サポートにお問い合わせいただいた際に、技術サポートではお客様の環境に関する情報をお尋ねすることがあります。

問題が発生してもログインは可能である場合、情報の大部分は「バージョン情報」ページで入手できます。そのページには、ご使用の IBM のアプリケーションに関する情報が表示されます。

「バージョン情報」ページにアクセスするには、「ヘルプ」>「バージョン情報」を選択してください。「バージョン情報」ページにアクセスできない場合は、各アプリケーションのインストール・ディレクトリーの下にある `version.txt` ファイルを表示すると、任意の IBM アプリケーションのバージョン番号を入手することができます。

IBM 技術サポートのお問い合わせ先

IBM 技術サポートへのお問い合わせ方法については、「IBM Product Technical Support」の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/open_service_request) を参照してください。

注: サポート要求を入力するには、IBM アカウントを使用してログインする必要があります。このアカウントは、できるだけ IBM カスタマー番号にリンク済みのアカウントにしてください。お客様の IBM カスタマー番号とアカウントとの関連付けについて詳しくは、サポート・ポータル「サポート・リソース」>「ライセンス付きソフトウェア・サポート」を参照してください。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町19番21号
日本アイ・ビー・エム株式会社
法務・知的財産
知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation
B1WA LKG1
550 King Street
Littleton, MA 01460-1250
U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができませんが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性がありますが、その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確証できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

表示されている IBM の価格は IBM が小売り価格として提示しているもので、現行価格であり、通知なしに変更されるものです。卸価格は、異なる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式

においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

商標

IBM、IBM ロゴおよび [ibm.com](http://www.ibm.com) は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

プライバシー・ポリシーおよび利用条件に関する考慮事項

サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品（「ソフトウェア・オファリング」）では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話またはその他の目的のために、Cookie はじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。Cookie とは Web サイトからお客様のブラウザーに送信できるデータで、お客様のコンピューターを識別するタグとしてそのコンピューターに保存されることがあります。多くの場合、これらの Cookie により個人情報が収集されることはありません。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらの Cookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的事項をご確認ください。

このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、お客様の利便性の向上、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名、およびその他の個人情報を、セッションごとの Cookie および持続的な Cookie を使用して収集する場合があります。これらの Cookie は無効にできますが、その場合、これらを有効にした場合の機能を活用することはできません。

Cookie およびこれに類するテクノロジーによる個人情報の収集は、各国の適用法令等による制限を受けます。この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人情報を収集する機能を提供する場合、お客様は、個人情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライン等を遵守する必要があります。これには、エンド・ユーザーへの通知や同意取得の要求も含まれますがそれらには限られません。

お客様は、IBM の使用にあたり、(1) IBM およびお客様のデータ収集と使用に関する方針へのリンクを含む、お客様の Web サイト利用条件（例えば、プライバシー・ポリシー）への明確なリンクを提供すること、(2) IBM がお客様に代わり閲覧者のコンピューターに、Cookie およびクリア GIF または Web ビーコンを配置するこ

とを通知すること、ならびにこれらのテクノロジーの目的について説明すること、および (3) 法律で求められる範囲において、お客様または IBM が Web サイトへの閲覧者の装置に Cookie およびクリア GIF または Web ビーコンを配置する前に、閲覧者から合意を取り付けること、とします。

このような目的での Cookie を含む様々なテクノロジーの使用の詳細については、IBM の『IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント』
<http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja/> の『クッキー、ウェブ・ビーコン、その他のテクノロジー』を参照してください。



Printed in Japan